

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、マーケット引け後にGoldfajn氏が中銀総裁になって初めての金融政策決定会合(COPOM)公表を控えていることもあり、終日上下に方向感のない展開が続いた(最終的に取引開始レベルとほぼ同水準の3.25台半ばで取引終了)。政策金利Selicは市場予想通り、8会合連続、全会一致で14.25%で据え置かれたが、今回の会合から、市場とのコミュニケーション方法に大きな変更点が4つ加えられた。①COPOM決定内容の公表時間が前任のTombini総裁時の20時から18時へ、2時間早められた、②声明文の公表が中銀ウェブサイトに限定された(以前までは、ブラジリアに集まっている記者に先行して伝えられていた)、③声明文の内容が拡充された(以前までは、決定内容を中心に数行が記載されるのみであったが、今回からその決定に至るまでの背景がより詳細に記載された)、④COPOM議事録の公表が会合翌週の木曜日から火曜日へ、2日間早められた。これらはいずれも中銀の方針・政策に対する透明性を向上させると考えられており、ポジティブな試みであると言える。

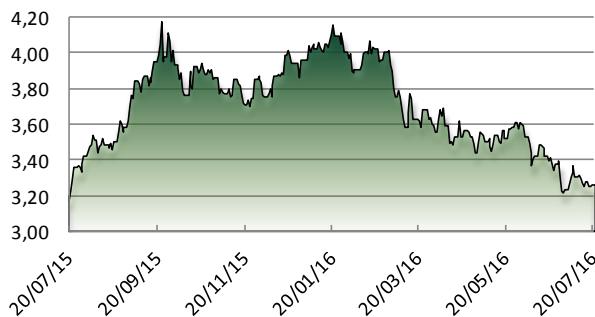
金融政策の方向性に関する記述については、Tombini総裁時の前回COPOMと変わらず、「金融政策緩和の余地はない」と結論付けられた。但し、2017年10-12月期の予想インフレ率を、四半期インフレ報告の前年比+4.70%から同+4.50%前後へ引き下げた点は、注目に値する。

マーケットデータ

Indicator		Unit	7月19日	7月20日	前日比	6月20日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	3,2498	3,2600	+0,0102	3,3947	-0,1347
	対円	JPY	32,65	32,79	+0,14	30,62	+2,17
	対ユーロ	BRL	3,5821	3,5911	+0,0090	3,8399	-0,2488
円	対ドル	JPY	106,12	106,89	+0,7700	103,94	+2,9500
	対ユーロ	JPY	116,96	117,73	+0,77	117,59	+0,14
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		56.698	56.578	-120	50.329	+6.249
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps		289,4	287,2	-2,2	332,5	-45,3
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		11,89	11,77	-0,12	12,69	-0,92
DI Future Apr17 (金利先物)	%		13,52	13,50	-0,03	13,48	+0,02
3 Months US Dollar Libor	%		0,697	0,697	+0,000	0,647	+0,050
CRB Index (国際商品指数)	Index		186,1	185,1	-1,0	194,4	-9,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート

